

「文の京」総合戦略

令和2年度～令和5年度

「文の京」総合戦略

(令和2年度～令和5年度)

令和2年3月



はじめに

これまで区では、平成22年6月に策定した基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、3期にわたる基本構想実施計画に示した計画事業等を着実に実施し、区民等との協働・協治の下、様々な行政課題の解決に取り組んでまいりました。それにより、本区の人口は22万人を超えるまでに回復するなど、「選ばれる自治体」としても発展を続けてまいりました。



一方、ライフスタイルの多様化やICTの進展、人口減少社会の到来等、社会環境の変化は著しく、様々な社会的要因による行政需要の変化に対し、自治体の対応力が求められております。先を見通すことが難しい「変化の時代」において、将来にわたり持続可能で豊かな地域社会を構築していくためには、これまで以上に、迅速かつ柔軟に区政課題を解決していくことが不可欠であると考えております。

このような状況の中、基本構想が、計画期間であるおおむね10年を迎えることから、新たな行政計画として「文の京」総合戦略を策定いたしました。本戦略では、基本構想の根幹となる理念や将来都市像を、あらゆる分野の共通の指針として継承しつつ、区が解決すべき主要課題を明らかにし、4年後の目指す姿を見据えた、取組の方向性や事業のロードマップを示しております。今後、施策や事業の展開には絶えず検証を加え、計画期間であっても、柔軟に事業を組み替えるとともに、SDGsやSociety5.0の視点も生かしながら、分野や領域を超えた柔軟な発想により、効果的・効率的な事業展開を図るなど、社会状況の変化に適応する課題解決型の区政運営を推進してまいります。

本戦略の策定に当たっては、区議会をはじめ、区民ワークショップやWebアンケート、基本構想推進区民協議会などを通じて、多くのご意見やご要望が寄せられ、可能な限り計画に反映いたしました。貴重なご意見等をいただいた区議会並びに区民の皆様には感謝申し上げますとともに、今後も、区民の皆様が「住んでいてよかった」と心から実感していただけるよう、スピード感を持って各施策を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年3月

文京区長 **成澤廣修**



文京区の紋章

区民の愛区精神を育て、文化芸術活動を活発にするため、広く一般から募集し、応募作品の中から、文京区の姿を象徴する「文」の字を図案化したものを、昭和26年3月1日に区の紋章として制定しました。



文京区のシンボルマーク

区制70周年を契機に、これまでの区民等の活動や地域のつながりなどの歴史を踏まえ、これからの未来に向けて、区や区民等の様々なつながりを表すものとして、平成29年3月15日、制定しました。大きさの異なる円を組み合わせることにより、「文」の形を表現しています。

目次

「文の京」総合戦略の策定に当たって	2
1 「文の京」総合戦略策定の背景	2
2 総合戦略の基本的な考え方（位置付け・期間等）	2
3 総合戦略の進行管理	3
第1章 基本構想	4
1 基本構想を貫く理念	4
2 将来都市像	5
第2章 総論	6
1 本区の人口（推移・将来人口推計）	6
2 財政状況と今後の財政見通し	12
3 本区を取り巻く社会状況の変化	26
第3章 基本政策	32
1 子どもたちに輝く未来をつなぐ	32
2 健康で安心な生活基盤の整備	32
3 活力と魅力あふれるまちの創造	32
4 文化的で豊かな共生社会の実現	33
5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	33
6 持続可能な行財政運営	33
第4章 戦略シート（計画期間で取り組むべき54の主要課題）	34
1 戦略シート（主要課題）一覧	34
2 行財政運営の視点	36
戦略シート	37
第5章 行財政運営	148
1 区民サービスの更なる向上	149
2 多様な行政需要に対応する施設の整備	153
3 財政の健全性の維持	159
4 質の高い区民サービスを支える組織体制の構築	161
第6章 まち・ひと・しごと創生総合戦略	164
1 文京区まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）	164
2 第2期「文京区まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定	164
附属資料	167